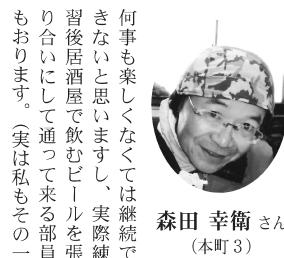


ちよこつと一言
ウイ、ラブ、スポレック
私たちはスポーツというテニスに似た室内球技を小須戸小学校の体育館をお借りして毎週火曜日の夜7時から9時間に楽しんでいます。最初は公民館の支援で運動不足解消や地域の友達作りの目的で発足したのですが、今では「老若男女和気あいあい」の理念もあつたのですが、その度

森田 幸衛さん
(本町3)

15名の部員が毎回心地良い汗を流しております。何度も少しだけ勇気を出して新しいステージの扉をノックしてみませんか。

何事も楽しくなくては継続できません。まさに「後居酒屋で飲むビールを張り合いで通つて来る部員もり合いでいる」とあります。(実は私もその一)

に乗り越えてきた理由を考えると、けつして強制はせずそこの人のベースで自由に練習参加ができる雰囲気が良かったのではないかと思っています。

人です)スポーツを通して人と知り合い共に嬉び共に笑う、そしていつしかそこが居心地のいい場所になってゆく、人生のステージは沢山あつた方が面白いし楽しいものですよね。

今は定期会員を募集中です。皆さんも少しだけ勇気を出して一度見学もしくは体験において下さい。

今クラブでは新規会員を募集しています。活動中体育馆の扉は開いていますから興味を持られた方は一度見学もしくは後居酒屋で飲むビールを張り合いで通つて来る部員もり合いでいる」とあります。(実は私もその一)

☆日 時 2月28日(火)
午後7時~9時
☆会 場 小須戸体育馆
☆対 象 小学生(保護者同伴)から
☆持 物 内履きタオル、飲み物など
(ラケットはお貸しします)
※参加費無料・当日直接会場へ

こども創造塾 「まゆ玉作り＆体験！ NEWスポーツ フロアーカーリング！」

この講座は公民館の「こども創造塾」の一つで、最初にまゆ玉の意味と作り方を講師の保科代志夫さんから教わりました。子どもたちは、周りのスタッフの手を時々借りて、きれいに飾り立てたまゆ玉を完成させ、最後に皆で記念写真を撮りました。

続いて行われた「フロアーカーリング体験」は、初めてに講師の小見さんと高野さんから、白根カルチヤーセンターより借用した用具と試合ルールの説明がありました。子どもたちはスタッフは4チームに分かれトーナメント方式で試合を行った結果、青チームが優勝しました。参加した子どもたちは、普段あまり見ない「フロアーカーリング」を大喜びで楽しんでいました。

赤チームVS黄色チーム
まゆ玉完成、全員集合！

こど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

「フロアーカーリング」とは？

は専用コートを必要とせず、いつでもだれでもが手軽にプレーできることです。

フロアーカーリングは、冬季オリンピック競技のカーリングを基に、平成5年に北海道の真ん中の「新得町」で開発されました。「フロットカーリー」と呼ぶ木製ストーンを「ターゲット」と呼ぶ目標ズトーンへ送球し、いかに近づけるかを競います。



フロッカーチャーを目標ストーンへ投げるところ

第8回にいがたボケ1ワンドリッパ卓球大会を開催

冬場の運動不足解消に有効です。
参加募集は終了しましたが、一度、見に来てみませんか。



◆個人Aクラス：卓球大会の出場経験がある人
女性には1セット3点のハンディキャップがあります。
◆個人Bクラス(男女別)：卓球大会の出場経験がない人
◆小学生クラス：小学1年生～6年生
◆混合ダブルスAクラス：
男女ともに卓球大会の出場経験がある人
◆混合ダブルスBクラス：
男女ともに卓球大会の出場経験がない人
◆親子ラリー：制限時間3分の間にどれだけラリーが続くか
を競います。小学生の子どもと親・祖父母などのペア。

☆時 間 午前9時から競技開始
☆会 場 小須戸体育馆(横川浜)
☆競技種目
☆試合方法 11本先取3セットマッチ
☆主 催 にいがたボケ1ワンドリッパ卓球大会実行委員会
☆特製ラケットを使用します。(右写真参照)

第47回県ジュニア美術展 奨励賞入賞(その1)

高野 徹裕さん
(小須戸小6年)

「もうすぐ卒業」

- ・踊り場のガラス窓を工夫して描きました。
- ・階段の絵具の色を合わせるのが大変でした。

本間 華恵さん
(小須戸小4年)
「みんなに届け
ぼくの歌声」

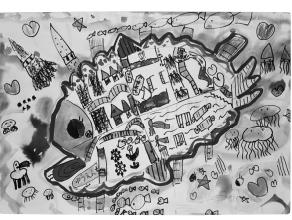
- ・グラデーションを使って工夫しました。
- ・「にやんた」のことを考えながら描くことが楽しかったです。

土屋 龍司さん
(小須戸小3年)
「魚いっぱい
市場の絵」

- ・工夫したところは、いろんな魚を描いたことです。
- ・魚を切っている人を描くのが大変でした。

片岡 美優さん
(小須戸小2年)
「海と魚と町」

- ・工夫したところは、魚の縁取りを黄色や青色、赤色でしたところです。
- ・魚の内側を色塗りすることが大変でした。



広島派遣研修に参加して

新潟市では、平成17年10月10日に「非核平和都市宣言」を行い、環日本海の友好・交流の拠点都市として北東アジアをはじめ、世界の恒久平和と核兵器の不拡散・廃絶を願い、さまざまな平和推進事業を実施していますが、この平和推進事業の一環として、毎年中学生などを広島へ派遣し、原爆の被害や戦争の悲惨さ、平和の尊さについて研修してもらっています。

今年度の「広島派遣研修」には、小須戸中学校から2名の生徒が参加し、感想文集(平成28年度 広島平和記念式典等派遣事業感想文集)に寄せてはいる紹介します。

「平和な日常に感謝」

岡田 尚大
小須戸中学校3年



原爆死没者慰靈碑

僕は今回の広島派遣研修を通して、戦争の恐ろしさ、そして平和の大切さを再認識するとともに、この戦争を後世へ伝えていきたいと思うようになりました。

そう思った理由として、一つ目は、被爆者の実際に体験したお話を聞いたことです。僕は事前学習として原爆について調べたとき、爆発と放射線だけが被害内容かと思つていました。でも、実際はそれだけではありませんでした。放射線に対する差別行為、生き残った人も、周りの知り合いは全員亡くなつてしまい、自分だけ生き残つたという孤独感、考えただけでも悲しくなり、胸が苦しくなりました。

また、当時は人手不足だったため、僕たちと同じ中学生も工場へ行つて働くか、訓練

僕は、広島に行つてきて強く感じたことが二つあります。一つ目は、戦争は絶対にあつてはならないということです。戦争は、たくさんの尊い命が奪われてしまいます。今回見させて頂いた資料館を見ると、とても怖くなりましたが、だから、このようないくためにまず自分でしっかりと理解をし、そして友達など多くの人に伝えたいと思います。

最後に、この戦争を伝えたいために、世界から核兵器をなくしていってほしいです。

僕は、広島に行つてきて強く感じたことが二つあります。一つ目は、戦争は絶対にあつてはならないということです。戦争は、たくさんの尊い命が奪われてしまいます。たつた1発の爆弾でも、一気にたくさんの命が失われるのです。今回見させて頂いた資料館を見ると、見るに堪えないものもたくさんありました。被爆者の方のお話も、強く胸を締めつけられました。

二つ目は、原爆についてです。この原爆という爆弾は、世界で初めて落とされた。この爆弾によって、広島市民はもちろん強制労働させられたいた、韓国人など、外国人の人までが原爆の餌食になつたのです。被爆して亡くなつた方々は、もちろん、被爆したけど生き残られた方は、後遺症や差別によって、とてもつらい思いをしたことを語り部の方のお話で分かりました。

このように、戦争や原爆は、あつてはならないのであります。だから僕は今後、原爆や戦争のことを一人でも多くの人に伝え、核廃絶に少しでも貢献していくたいと思いま

文芸欄



「広島で感じたこと」

小須戸中学校3年
諏訪間 一貴

句

初景色彌山角田山は雲の中
満ち足りし至福のひと日初句会
妻遊きし独りぐらしの初景色
遠く住む子等はいかにや初山河
豊麗笑ひじわ濃き初鏡
雲間より覗くあぞぞら初霞
寒の月雲の切れ間にほっこりと
街路樹に華を咲かせる今朝の雪
雪起し越の大地をふるはせて
生かされて八十路と三つ今朝の春

立春だお多福めがけ豆をまく
縁起もの豆まく家へ福が来る
五十年添つてた鬼に介護され
千鳥足よせと父さん豆まかれ
断れず苦勞背負つた良い男

柳
〈節分〉
短歌
〈自由吟〉
川柳
冬の日のお日様顔出し布団千す
部屋に陽がさし吾日向ぼこ
降りやまぬ雪を背に受け電線の
小鳥の群れは耐えるがごとく
雪降る中を漂と春待つ

玲
高橋キヨ
泉

増井都留
保科志枝
能登としお
会田修
馬場高志
吉田松子
本多玲子
中野太浪
上田スミイ
間野えり
風間幸子

平成29年工コ講座
サイチョのマジック段ボール
身边な段ボール箱で
生ごみを堆肥化しませんか?
日 時 2月21日(火)
午前10時~11時半
会 場 小須戸まちづくりセンター会議室
参加費 無料(用意するものはありません)
※申し込み不要
直接会場へおいで下さい。
主 催 小須戸コミュニティ協議会
環境・教育部会
共 催 新潟市環境部廃棄物政策課
市政さわやかトーケ宅配便

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し2月24日(金)までに小須戸地区公民館へ。

「防犯講演会」を開催

1月19日(木)、新潟県防犯アドバイザーを講師に招いて「防犯講演会」が開催され、50名の参加がありました。

おもしろおかしく時にはユーモアに、時には真撃に、詐欺被害に遭わないための知識を学びました。また、講師のトランペット演奏に合わせた合唱は、初めてにもかかわらず息の合った山の手コミニ協の絆の深さを感じさせる歌声で、講師からは「合唱団をつくりませんか」とお褒めの言葉を頂いた楽しい講演会でした。

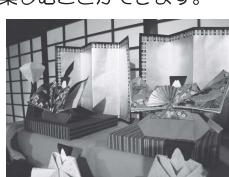


山の手コミニティ協議会

秋葉区自治協議会提案事業

在郷町小須戸ひな・町屋めぐり 開催中

小須戸コミ協は、3月のひな祭りまでの期間小須戸を楽しんでもらおうと、秋葉区自治協議会と地域のお店の協力を得て、様々なイベントを企画しています。町屋ギャラリー薩摩屋では折り紙サークルによる見事な7段飾りのひなさまと折り紙のつるし雛などが展示されています。折り紙のワークショップもあり、ひなさまの吊るし飾りを作ることができます。また着物でまち歩きの企画やカフェの期間限定メニューなども楽しめます。3月4日は琴の演奏会(14:00~)、5日はフルートの演奏会(11:00~)が行われ、各店舗に飾られたひな様を巡るまち歩きと演奏会を楽しむことができます。



小須戸コミュニティ協議会